

ローヤル润滑油

No.138

発行 ローヤル油機株式会社 2006年3月18日

〒979-0202 福島県いわき市四倉町上仁井田字家ノ前 107-4 TEL.0246-32-6657 FAX.0246-32-6658

Eメールアドレス GSP00013@nifty.com

HPアドレス <http://homepage1.nifty.com/loyal/>

【シリコングリスTSK5401L】 GE東芝シリコナー

1. 潤滑性に優れたメチルアルキルシリコンオイルをベースにした、シリコングリスです。
2. 使用温度範囲：-40 ~ 150 耐熱性・耐寒性・水洗耐水性に優れ、多くの実績を持っています。
3. モーター、ポンプ、ファン等のベアリング軸受け、バルブ、ギヤー、シールの潤滑に使用される。
4. 容量：400gジャバラ(通常在庫品)、1kg缶、4kg缶、18kg缶

高崎物語 1

緑町は、両国駅から京葉道路を東に歩いて10分ほどのところに在った。

昭和36年2月、私が磐城高校の授業全日程を終了するのを待っていたかのように、父は、私を連れて常磐線平駅(現・いわき駅)始発の特急列車で東京の両国に向かった。

割烹料理店を営む家に置いて仕事を手伝わせるよりは、学生と一緒に勉強させた方が良くと思ったのか、知人で私の高校の先輩でもあった大学生の川藤さんに受験中私を預かって貰うことにした。お陰で、私は川藤先輩の下から大学受験を目指すことになった。

先輩は、母校の同窓生である長谷川さんと一緒に、両国・緑町の下宿屋に住んでいた。下宿屋は、京葉道路から4、5軒入った路地裏に黒い板塀を回した中にあり、下宿屋と言うより、普通の民家と言ったほうが良かった。

下宿は、玄関を入って直ぐの部屋で6畳ほどの広さに壁に向かって二つの座り机と本箱が置いてあった。机と机の間には、髪を七三に分けちよび髭を生やし鋭い目をした横顔の外人の肖像

『両国・緑町 1』

画が無造作に貼ってあった。後に、その肖像画がドイツの宰相「アドルフ・ヒトラー」であることを知った。

部屋と中庭の間に広縁があり、部屋の隣は洗面所やトイレになっていた。

そこには、私が初めて目にする球形の洗濯機が置いてあった。今なら、ドラム型の洗濯機を手動式にしたようなものなのだが、きらきらと銀色に輝いて都会的斬新さを感じていた。

広縁の奥には、居間と寝室が続いていて、大家族夫婦に中学生の女の子が一人いた。私という居候が一人増えて、一つ屋根の下に6人が寝起きを共にすることになった。

川藤先輩は、大学に在籍しながら難関の外交官の試験を目指していた。同じように長谷川先輩も、慶応大学に在籍しながら東京外大の受験に備えて勉強していた。

川藤先輩は、高校時代母校の応援団長をしていたせいか、身体に似合わず声が大きくて豪快な性格であった。背丈があまり高くなかったこともあったのか、東京中何処へ行くのも高下駄だった。都会では見られなくなってしまう高下駄の小気味好い音に、ほとんどの人が振り返った。 次号に続く。

あとがき

先日、或るメーカーの営業マンが来て当社の社員に切削油の講義をしてくれた。終了後、彼は生真面目に「びっくりしましたあ、先日或る工場に行ったら 32 番の潤滑油で切削しているんですよ。それも切削油を使うより良いと言うんです」「その工場の担当者、よく気付いたね。私は 20 年前からいろいろな工作機械の切削に潤滑油を使って貰っているよ」 “発想の転換” 皆さんも一度トライしてみても如何です。